

(昭和59年5月1日現在)
 人口 21,607 (+16)
 男 10,653 (-1)
 女 10,954 (+17)
 世帯数 6,510 (+26)

—人のうごき(4月中)—
 転入 208人 転出 205人
 出生 21人 死亡 8人



まくべつ

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



ハンドル人生32年

6月17日は父の日。お父さんの中には、さまざまな職業を持ったかたがおりますが、菅原充さん(55歳・札内幌町)は、バスの運転手として32年の大ベテラン。ハンドルを握って以来、無事故無違反を続けており「秘決は心のもち方ですね」と目を細めていました。

予算特集—2 あたたかい心で包む町づくり

健康で明るい幸せな毎日を



毎日、ひとり暮らしのお年寄りを訪問

就労センターで 豊かな経験を… 老人福祉

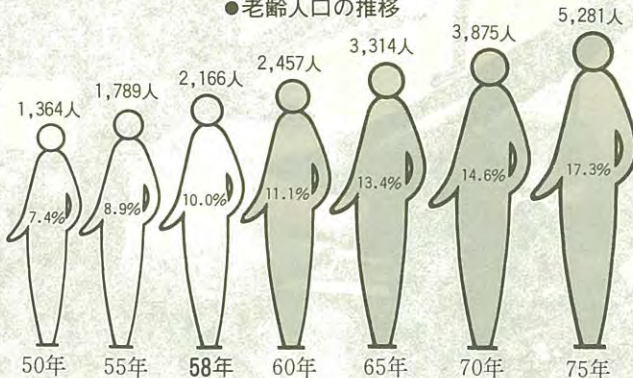
口の一〇%を占め、高齢化社会は着実に進みつつあります。こうした中で、お年寄りたちが気にかけていることに「健康」「生活」「孤独感」「生きがい」などがあります。

お年寄りの皆さんの元気はつらつとした姿を見るのは、なんともうれしいものです。今、幕別には六十五歳以上のかたが二千百六十六人いて、人

予算特集——二回目は「福祉と健康の充実」です。
健康で幸せな毎日を過ごしていただくために、お年寄りや体の不自由なかたへのお手伝いや保健活動を積極的に進めます。

- 町では、こうしたお年寄りに少しでも暮らしやすく、心配のない生活を送っていただくとうと、いろいろなお手伝いをします。
- しかし、制度や施設の充実だけでは心の幸せまでは得られません。それには、お年寄りや常日ごとの温かい心遣いが必要となります。また、お年寄りが持つ豊富な経験や知識を存分に発揮してもらい、社会に気軽に参加できる環境を築くこともたいせつです。
- ◇ゲートボール場造成・整備事業
■糠内地区に事業費六十万円です。二面造成します。また、駒島地区など六面の整備も行います。
- ◇ゲートボール用具購入
■五十七年度から毎年、十セットを購入して各老人クラブで利用されていますが、本年度も三十五万円です。七セット購入します。
- ◇寝たきり老人家庭見舞金
■老衰、傷病などの理由により、常時介護を要する六十歳以上のお年寄りにある家庭に、月額三千元の見舞金をお贈りいたします。見舞金予算額は七十五万円です。
- ◇独居老人ひと声運動
■六十五歳

●高齢人口の推移



- ◇敬老祝い金
■長寿を祝福する祝金を七十五歳以上のお年寄りにお贈りします。八十歳未満のかたは一万三千元、八十歳以上九十歳未満のかたは一万五千元、九十歳以上のかたは二万円(いずれも年額)で、祝金の予算額は、一千百万円に及びます。
- ◇老人無料入浴券
■六十五歳以上のお年寄りに、幕別温泉ホテル入浴招待券をお贈りしています。予算額は三百五十五万円です。
- ◇家庭奉仕員派遣
■日常生活を営

このところ、老人のスポーツとして、ゲートボールは盛んになっていきます。用具やコートなども年々整備されてきていますが、大きな大会を開催する場合には、まだコートが足りません。また、冬期間も利用できる施設をぜひ造ってほしいものです。老人医療費の助成については、いろいろな制約があると思いますが、続けていただきたいと思います。

ご意見拝聴



の み わ こ
土野美和子さん(29歳)
札内泉町68

親にとって三カ月ごとの検診は、我が子の成長を知る上で、たいへん重要ですが、予防接種も同時に受けられると便利です。子供が、特に土・日に病気になるのと困ります。日曜日は当番医が決まっていますが、土曜日の午後もあると安心です。また、三歳までは無料だからといって、むやみに病院にかからないよう心掛けたいですね。



ほ り き り た け さ だ
堀切武定さん(69歳)
南町53

むことに支障のある寝たきり老人や、重度の身体障害者などのある家庭で、家族が介護を行えない場合に、身の周りのお世話や相談を行うのが家庭奉仕員制度です。町では、五人のヘルパーを派遣しています。

高齢者就労センター

四月から高齢者就労センターが開設しました。定年退職した後、地域社会の日常生活に密着した、補助的、短期的な仕事を通じて、自分の豊かな経験と能力を活用し、健康を保ち、自らの生きがいを充実させるとともに、地域社会に尽くしたいという人たちが登録会員となつて組織しています。会員数

は五月一日現在で、男子七十一人、女子十九人になっています。

町や民間会社、個人から、草刈り、清掃、家事の手伝い、留守番などの仕事を有償で引き受けて会員に提供し、その内容や実績に応じて、報酬を支払っております。(一時間当たり四百円から五百五十円十円)

健康で働く意欲のある、おおむね六十歳以上のかたなら、どんなでも入会することができ、特別な資格や難しい手続きはいりません。入会を希望されるかた、仕事を発注したいと考えておられるかたは、左記へお問い合わせください。
※役場民生課内 高齢者就労センター
☎ 54-2111 内線111

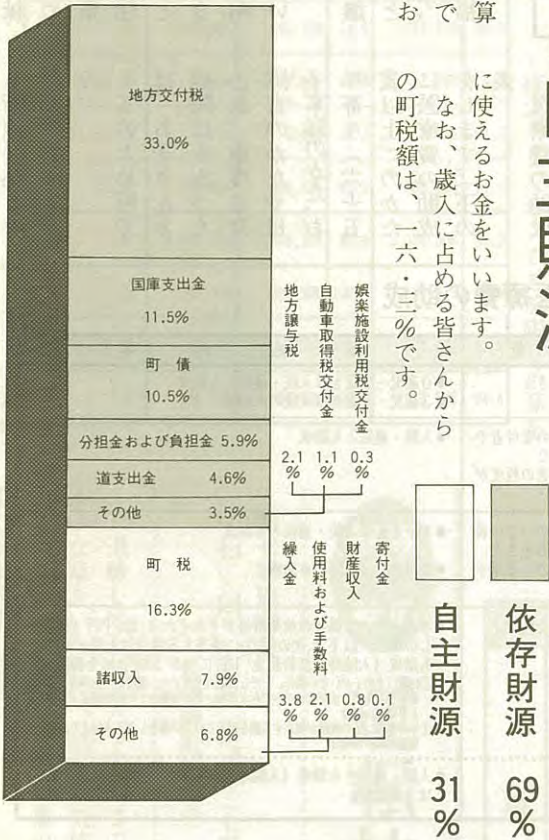
依存財源と自主財源

昭和五十九年度の一般会計予算は、六十九億二千八十九万九千円ですが、歳入の内訳はグラフのとおりです。

に使えるお金をいいます。なお、歳入に占める皆さんからの町税額は、一六・三%です。

●依存財源とは、地方交付税や補助金などの国や道からの借金、町債という借入金などをいいます。
●自主財源とは、町税や使用料、手数料などのように、町が自分で集めて自主的

●一般会計の歳入



育ちざかりをしっかりと援助

児童福祉

将来を担うお子さんが、健康で明るく育ってほしい——これはみんなの願いです。児童の人間形成は、幼年期においてその大半を方向づけてしまうほど、たいせつな問題です。子供の健全育成には、温かい家庭づくりと良い地域環境づくりが必要です。
◇児童手当 十八歳未満の子供が三人以上おり、そのうち一人以上が中学校を卒業するまでの子供であれば、一人につき月額五千円が支給されます。しかし前年の収入

が一定の額(例えば、給与所得者については、扶養者数が五人の場合には五百八十万円)に満たないことが要件となります。扶助予算額は三千五百四十一万円になります。

◇遺児援護金 不幸にして、生計の中心者を失った義務教育終了前の遺児のかた、また、二十歳未満で障害を持ったかたに、月額三千円をお贈りします。援護金予算額は百六十九万円です。

●入所者数(5月1日現在)

施設名	区分		計
	3歳未満児	3歳以上児	
幕別中央保育所	18	50	68
幕別みどりヶ	3	56	59
札内南	6	103	109
札内さかえヶ	4	61	65
札内青葉	2	96	98
札内北	24	40	64
へき地ヶ(10カ所)	34	116	150
計	91	522	613

喜びのある労働雇用対策の促進

勤労者福祉

勤労者が、働くことの喜びと日常生活の充実を図るための労働環境の整備や、工業団地の造成に伴う企業誘致による雇用対策を進めます。また、各種労働団体への活動助成を図ります。
◇勤労者生活資金貸付 労働組合や職員団体などの組織に加入していないため、どこからも生活に必要なお金(冠婚葬祭、医療、教育)が借りられない人のための制度で

一定の額(例えば、給与所得者については、扶養者数が五人の場合には五百八十万円)に満たないことが要件となります。扶助予算額は三千五百四十一万円になります。

療育、訓練などで力強い自立の道

身障者福祉

早期療育対策の促進を図ります。
◇重度心身障害児家庭見舞金 十八歳未満で心身の自由な生活が困難な家庭に、月額三千五百円をお贈りいたします。見舞金予算額は六十三万円です。
◇心身障害児療育委託事業 帯広児童療育センターへの委託事業で、心身に障害のある幼児が保護者とともに通園しながら、日常生活における基本動作、集団生活への適応訓練を行います。委託予算額は百四十四万円です。
◇心身障害児通園訓練費助成 心身の機能回復訓練のため、訓練施設に通学、通園する児童に通園費などの助成をします。助成予算額は百七十八万円です。

●手帳交付者数(4月1日現在)

区分	交付者
1級	60
2級	96
3級	75
4級	82
5級	69
6級	63
計	445

す。お貸しする金額は一万円以上十万円以内で二年以内に償還(年利率は三%)していただきます。心身の不自由な人が、明るい社会生活を送れるように、療育訓練補助、見舞金制度による経済的援助や励会などの精神的援助とともに、障害の発生予防、

地域を心とした 思いやりの輪を

福祉活動

真の地域福祉を実現するためには、公的施策と並行して、住民が自ら主体となった積極的な福祉活動の展開が求められています。

社会福祉協議会は、地域福祉活動の中核団体として活発な活動を進めています。各種福祉団体の活動を助長し、福祉活動の充実を図ります。

●福祉団体 (4月1日現在)

名称	会員数	活動内容
民生委員協議会	42	● 幸せを高める運動の推進 ● 要保護者の自立更生・援助
社会福祉協議会	全戸	● 各種協議会の開催および後援 ● 歳末助け合い運動等、その他地域福祉の推進
母子会	110	● 福祉大会、母子研修会への参加
身体障害者福祉協議会 馨別分会	370	● 身障者スポーツ大会への参加 ● 研修会の実施
青年ボランティア連盟	14	● 新聞少年等への輩出
婦人ボランティア連盟	52	● 施設訪問、ねたきり老人、ひとり暮らし等の 友愛訪問と福祉施設に対する協力
老人クラブ連合会	1,550	● 研修会、福祉社会への参加 ● 老人スポーツ大会等の開催

医療

負担を軽減する 医療費の助成を

ある日突然、私たちの生活を襲う病気がけが。たったひとりの病人で家庭は暗くなり、多額の医療費の負担に家族みんなが、精神的苦痛の上に経済的苦しみを



医療費の助成で負担を少しでも軽く

医療費の助成を受ける場合は、いずれも受給登録が必要で、町民課国保医療係または札内支所で手続きをしてください。

●医療費の助成

事業名	対象	助成内容
乳幼児医療費助成	● 6歳未満のお子さん	● 0歳児～2歳児は入院・通院とも助成 ● 3歳児～5歳児は入院のみ助成
重度心身障害者医療費助成	● 身体障害者手帳の交付者で1級か2級のかた ● 精神薄弱者で障害の程度が重度のかた	● 入院・通院とも助成
母子家庭医療費助成	● 母子家庭や両親のいない義務教育終了前のお子さん ● 20歳未満の子供のいる母子家庭の母親	● おさんは入院・通院とも助成 ● お母さんは入院のみ助成
老人医療費助成	● 65歳～67歳のかた	● 本人とその配偶者の前年所得がそれぞれ1,235千円(扶養なしの場合)以下で、次の①、②に該当する場合は入院・通院とも助成(入院時一部負担金(1日につき300円)は全額助成) ①18歳以上の子がない場合。ただし18歳以上の子で、重度の心身障害、長期療養者等および、子が女子のみでみんあに嫁いでいる場合で所得が規定する額を超えていない場合 ②単身世帯(子の所得が規定する額を超えていない場合) 老人夫婦または老人と児童の世帯の場合
	● 68歳以上のかた	● 入院・通院とも助成(入院時一部負担金(1日につき300円)は全額助成)

相談、検診の充実 自らの健康管理 保健予防

私たちがいつも願うこと、それは家族みんなが健康で豊かな生活を送ることです。本年度も各種の事業を行います。

町民健康センターを有意義に活用していただくため、保健相談、疾病に対する予防指導などを積極的にに行います。また、成人病の検診などによる疾病の早期発見をす



保健相談を利用している妊婦

るとともに、日常生活における体力づくり、健康管理を推進するため健康づくり推進協議会を設置しました。

◇母親学級―保健衛生について正しい知識普及のため、初めてお母さんになるかたを対象に、年五コース開催します。(一コース四日間)

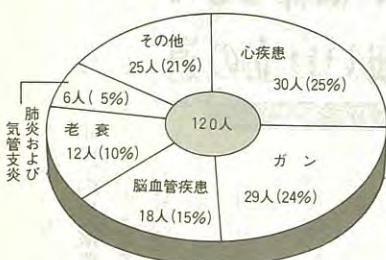
◇乳幼児検診―生後三カ月、七カ月、一歳、一歳六カ月、二歳児の各種測定や尿検査、問診を行い、三歳児検診では、内科や歯科、相談などを行う総合的な健康診断です。

◇結核検診―年一回必ず受けるように法律で義務づけられており、受診料は無料です。委託料予算額は二百九十三万円です。

◇胃ガン・子宮ガン検診―ガンを早い時期に発見して、早く治療することを目的に行います。個人負担は千五百円です。委託料予算額は三百六十九万円です。

◇休日の診療―日曜日(祭日を除く)の午前中は町医師会の協力で、四

●死因別人数 (58.4～59.3)



医院が当番制で診療に当たります。

◇夜間の診療―交通事故や急病など、緊急の場合に限って午前0時から午前九時まで、帯広第一病院で診療が受けられます。委託料予算額は三百万円です。

※健康づくり推進協議会

町民の健康づくり対策を積極的に推進するため、本年度から設置されました。

近年、人口の老齢化、栄養のアンバランスや運動不足などに伴い、肥満、貧血、成人病などの増加が問題となっています。このため、自分の健康は自分で守るという認識のもとに、各人が日常生活において、栄養、運動、休養などのバランスを取り、地域住民に密着した総合的な健康づくりが必要です。

協議会は、学識経験者など十人の委員で組織され、町長の諮問に応じて、保健福祉・健康教育・栄養改善事業・健康づくりモデル地区・組織の育成など、健康づくりのための方策を体系的、総合的に調査や審議をして、意見を具申します。

●特別会計・公営企業会計執行状況
(単位：千円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	執行率 (%)	支出済額	執行率 (%)	
特 別 会 計	国民健康保険	884,953	870,045	98.3	708,672	80.1
	簡易水道	16,080	14,994	93.2	14,154	88.0
	下水道	926,788	690,718	74.5	793,258	85.6
	土地区画	224,891	168,488	74.9	217,913	96.9
	駒島営農	2,856	2,849	99.8	2,270	79.5
	飲供施設	6,619	6,443	97.3	6,315	95.4
	老人保健	635,550	604,628	95.1	582,226	91.6
	合 計	2,697,737	2,358,165	87.4	2,324,808	86.2
公 営 企 業 会 計	水 道	203,396	203,396	100.0	199,579	98.1
	国民宿舎	351,532	351,532	100.0	324,207	92.2
	合 計	554,928	554,928	100.0	523,786	94.4

昭和58年度 (4月～3月)

町の台所のようす

予算の執行状況

58年度予算の3月31日現在の執行状況をお知らせします。これは町民の皆さんに、税金がどのように使われているか、また財政運営がどのようになっていくかを知っていただくためのもので、**なお、執行結果(決算)は12月に公表します。**

私たちの住むマチをより住みやすくするために、町ではいろいろな事業を進めています。その台所の内容はどうなっているのでしょうか。五十八年度下半期は、景気の低迷が続く中で、適切なサービスを確保するため、できる限り予算を

●一般会計執行状況

(単位：千円)

区分	科 目	予算現額	収入済額	執行率 (%)	
歳 入	地方交付税	2,503,457	2,503,457	100.0	
	町 税	1,206,697	1,153,515	95.6	
	町 債	810,400	163,600	20.2	
	諸 収 入	507,600	385,306	75.9	
	道 支 出 金	571,940	503,495	88.0	
	国庫支出金	457,658	428,666	93.7	
	譲与税、交付金	261,061	261,061	100.0	
	分担金、負担金	188,975	154,550	81.8	
	使用料、手数料	147,304	142,031	96.4	
	そ の 他	162,753	153,039	94.0	
合 計		6,817,845	5,848,720	85.8	
歳 出	土 木 費	1,218,636	1,189,539	97.6	
	農 林 業 費	1,202,995	1,191,307	99.0	
	公 債 費	894,041	894,004	100.0	
	民 生 費	790,276	763,187	96.6	
	議会、総務費	1,090,538	892,129	81.8	
	教 育 費	780,236	744,354	95.4	
	衛 生 費	353,591	342,645	96.9	
	消 防 費	259,685	259,685	100.0	
	商 工 費	185,193	181,253	97.9	
	勞 働 費	20,632	19,704	95.5	
	そ の 他	22,022	17,021	77.3	
	合 計		6,817,845	6,494,828	95.3

完全に執行するよう努めました。三月末の執行状況は、一般会計が歳入で八五・八%(前年度同期は八四・七%)、歳出で九五・三%(同

九六%)と、いずれも昨年同様の執行率となっています。特別会計、公営企業会計も昨年度並みの執行率でした。

しかし、今後出納整理期間(四、五月)中に引き続き収入・支出が行われますので、決算での執行率は、今回よりかなり高くなります。

叙 勲

運転技術員で貢献

勲七等瑞宝章

石川末吉さん(七四)

札内咲町二七〇



「退職して十年もたつのに、このような章をいただける、感謝の気持ちでいっぱいです」と受章の喜びを話す石川さん。

昭和十年に、当時としては珍しい運転免許を取得。十五年に運転技術員として池田林務署に入り、四

十八年に退職するまで、造林や植林作業の貨物運搬ひと筋の生活を送りました。戦前戦後の厳しい時代を過ごしてきただけに思い出も多く「燃料がなくて、木炭車に乗った時もありました。あの車は故障が多すぎて……」と昔を懐かしむ話は、尽きません。戦後になってからは安全管理のため、整備士二級の資格も取得し、業務に励みました。

五月の豪雨による…

被害総額一億七〇〇〇万円

ゴールデンウィーク中盤の、五月二日から三日にかけて十勝地方を襲った豪雨は、幕別町にも大きなツメ跡を残しました。大雨災害対策本部がまとめた被害総額は、一億七千五百万円にも上りました。

五月二日から三日にかけて、二つの低気圧の北上で全道的に荒れ模様となり、十勝地方でも五月二日から三日にかけての雨量が、各地で軒並み一〇〇リを超える局地的豪雨に見舞われました。



家屋の床下浸水は二十一棟の被害に(南町公区)

幕別町でも、糠内地区が最高一五ミリの降雨量を記録しました。この集中豪雨のため、軍岡、糠内地区などでは二十一世帯が床下浸水したほか、河川のはんらん、道路の決壊、畑が水をかぶるなどの被害が出ました。さらに、千住にある水産庁道さけ・ますふ化場十勝支場幕別事業所では、水源である旧途別川が増水し、泥水がふ化場の飼育池に流れ込み、大量の稚魚が酸欠死しました。



一面に水をかぶった相川地区の小麦畑

町では、五月三日に「大雨災害対策本部」を設置して、道路の危険箇所の通行止、応急対策、災害箇所の調査や復旧対策に当たりました。

大雨災害対策本部がまとめた被害状況は、土木関係では、道路被害が六十六カ所・四千四百四十六万三千元、河川被害が六百万円、がけ崩れは二カ所で五十万円。農業関係では、農地が八十三カ所(六十七・八畝)・六千六百四十四万八千円、農作物被害が十七カ所(八・四畝)・四百三十二万八千円、農業用施設が三十一件・六千六百万円に

被害状況と金額 (道の施設を除く)

項目	件数 (面積)	主な被害箇所(被害内容)	被害金額 (千円)
河川	1	沖田川	6,000
土木被害	66	稲志別線(道路決壊)	41,463
		中里9号線(路面流出、横だん管きょ決壊)	
		中稲志別豊岡線(道路決壊) 猿別川西線(路肩流出)	
がけ崩れ	2	豊岡、西猿別	500
農業被害	83(67.8ha)	町内一円(畑流出=58.6ha、土砂や土石の流入=9.2ha)	61,648
	17(8.4ha)	稲志別ほか2地区(畑流失=8.2ha、土砂や土石の流入=0.2ha)	4,328
	31	猿別頭首工(護床ブロック流失) 軍岡地区明きょ排水(ブロック崩壊) 猿別12線明きょ(土水路決壊)	61,060
被害総額			174,999

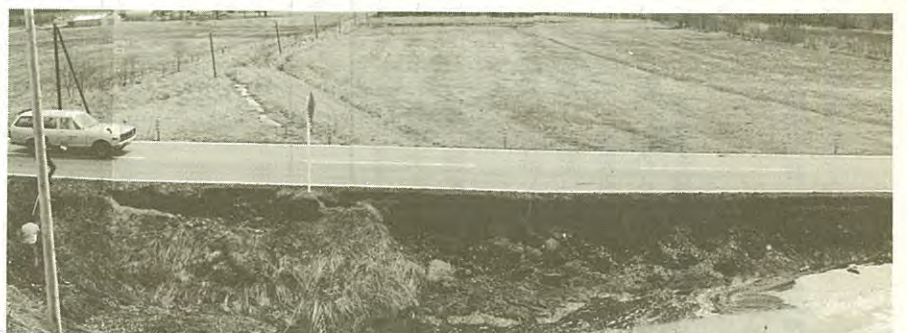
なり、被害総額は一億七千五百万円に及びました。(表一参照)
このように、道路や農業施設に大きな被害を受けましたが、国や道に対し災害認定していただくよう働きかけ、一日も早く復旧できるよう努力いたします。



稲志別で被害の視察をする林町長



稲志別川の倒壊したブロック



排水路の増水により道路の両路肩・のりめんが流出した猿別川西線

世帯員数

1世帯3.3人



(59. 4. 1)

人口密度

1km当たり63.75人



(59. 4. 1)

出生

1.3日に1人



(58. 1~12)

死亡

3日に1人



(58. 1~12)

結婚

3.2日に1組



(58. 1~12)

離婚

11.8日に一組



(58. 1~12)

数字で見る幕別町

皆さんはどれくらい知っていますか——
ここでは、幕別の様子を身近な数字で表わしてみました。

転入

1日に3.3人



(58. 1~12)

転出

1日に3.1人



(58. 1~12)

交通事故

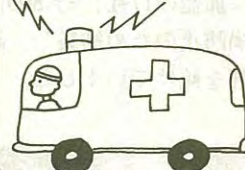
5.9日に1件



(58. 1~12)

救急出動

1.2日に1件



(58. 1~12)

火災

36.5日に1件



(58. 1~12)

犯罪

2.3日に1件



(58. 1~12)

たばこ消費量

成年者1日当たり9.5本



(58. 4~59. 3)

酒消費量

成年者1年間に

- ビール—39.1ℓ
- しょうちゅう—11.0ℓ
- 清酒—9.4ℓ
- ウイスキー—3.8ℓ

(59. 1~12)

水道

1日1世帯当たり
460ℓ



(59. 4. 1)

乗用車

3.3人に1台



(58. 9)

町職員

町民88人に1人



(59. 4. 1)

健康相談

質問

最近目覚めが悪く、起き上ってからしばらく体が重く、調子がつくまで時間がかかります。どこが悪いのかと思いい、病院で診てもらったのですが、特に悪いところも無いと言われました。どうしたら目覚めが良くなりますか。何か良い方法がありましたら教えてください。(宝町・主婦)

お答え

内科的に特に悪いところが無ければ、目覚めの運動を勧めます。

朝、さっぱりとした気分で目が覚めたときは一日充実した気持ちで仕事に取り組もう、という意欲が盛り上がってくるものです。また、目覚めたばかりでは、自律神経もしばらく調子が出ませんが、体を動かすことによって、交感神経の活動が活発となってきます。その結果、眼いときでも、頭がスーッとさえてきます。

目覚めたら、次の運動をして

みましよう。起きるためのウォーミング・アップです。

① 背伸び

寝たままで両手を組み、つま先まで力を入れて、いっばいに伸びましょう。

② 指先と足先の運動

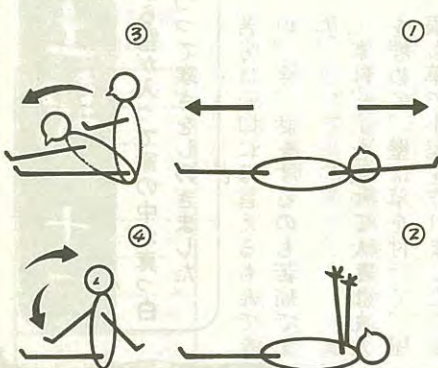
両手を上に上げて、握りこぶしをつくり、手を開きましょう。これと同時に、足の指も曲げたり伸ばしたりしましょう。次に手首と足首をくるくると回します。これをそれぞれ二、三十回ぐらい、できるだけ早く繰り返します。

③ 前曲げ

布団の上に、両足を投げ出して座ります。ひざをできるだけ伸ばしたまま、体を前に曲げます。二、四回で十分です。

④ 体の横ひねり

前曲げ運動のように座って、体を左右にひねりましょう。初めは軽く、徐々に大きくひねってください。



まちの ニュース



▼榎本家三人遺句集を発刊
今は亡き祖父・繁平(鳴海)さん、伯父・静男(露香)さん、父親・梅谷さん(元幕別町助役)の残した俳句を榎本充彦さん(二十八歳・梅谷さんの二男)芽室町在住)が、遺句集「福寿草」として発刊しました。



▶業界ぐるみで交安大会

幕別町建設業協会では、業界ぐるみで交通安全を推進しようと、先月9日に町民会館で、初の交通安全大会を開きました。この安全大会は、同協会に加盟の17社、約800人が輪禍防止のため結集し、講演に耳を傾けていました。



▲池田西高の新校舎建設始まる

私立池田西高校は、昭和60年4月に池田町から幕別町依田(国際カントリークラブ手前)へ移転しますが、4月27日、現地に学校関係者など約30人が集まって校舎新築工事の地鎮祭を行いました。来年の移転時までに校舎(3階建て)、体育館などが完成します。



◀交通事故の恐ろしさを実感！
交通事故の恐ろしさを実際に目で見てもらおうと、札内北小学校では先月十七日に、ダミーによる事故実験が行われました。実験は駐車車両の陰から子供が飛び出した——との想定。ダミーが車にひかれると、子供たちは悲鳴を上げ、事故の恐怖を実感したようでした。



西川勇次郎さん(88歳)
五位341

幕別風土記 十一

草小屋は冬は寒いし、透き間から雪が入って家の中が真っ白になるので、出入口はむしろをつけて寒さをしのぎました。

苦勞は一口には言えるもんでない。今、話するのも苦痛です。

私は、明治二十八年八月二十日、富山県西砺波郡山王村大字 藪島村(現在の福岡町)で生まれました。北海道へ来たのは明治四十年三月で、父母と兄と二人の妹の五人で渡ってきました。最初に入ったのは、私の伯母がいた幸震(帯広市幸福)で小作を少しやり、その年の十一月に、中里に入植しました。中里の土地は、叔父が持っていたもので五町歩あったんです。ところが、ひとつも開かんで投げたあつて、農家が嫌いだつたんですね。だから、その土地を開墾することにしましたよ。

開墾は、とにかく苦勞しました。木の間にさがびつしりと生えている所だからね。それもくわだけで雪が降るまで耕して、二、三年かかったです。開拓の

家は、土を掘って大きな丸太を埋めて、壁は草を付けて、屋根も草で小屋を作りました。ふるは大きなドクの木で、中まで腐って穴が空いているのを見つけて、それを切ってきて、鉄板を張り作りしました。小屋も何もない露天ぶろで、冬は寒くて入れなかつたね。

結婚は大正九年、二十六歳の時にしました。私は結婚式の時まで、嫁さんになる人の顔を見なかつたが、嫁が決まったというから結婚しました。それも当時は普通のこと、仲人さんを信用するほかなかつたです。

結婚した時に、五町歩の土地を買って分家したが、大正十一年に、土地は少ないし、家内は農家をしたことがなく慣れていないので、農家をやめました。そして、糠内市街に出てお菓子屋をやり、うまく行かなくて、飲食店も一緒にやりました。

みんなの声



健康は町民みんなの財産

最近、会社を定年退職しました。今までは、職場の健康保険でしたが、国民健康保険(国保)へ加入するつもりです。制度の内容、保険税な

「国保」ってなんですか？

◆◆(投書) 町に対するご意見や質問などがありましたら、お寄せください。出来事や体験などでも結構です。

投書には住所・氏名をお忘れなく。匿名ですと返答をお伝えするにも連絡のしようがなくて困ります。広報紙に掲載するときは、匿名希望とお書き添えいただければそのようにしますし、秘密は守ります。

□あて先……本町130番地 役場内企画財政課広報広聴係

医療費の負担を少しでも軽くします

■お答えします

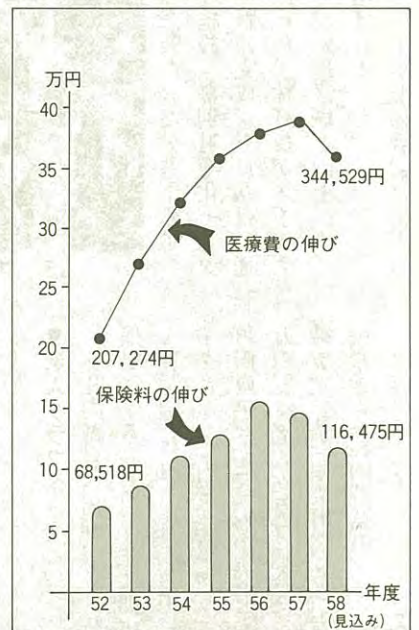
(五十八歳・男性)

国民健康保険(国保)は、お互いにお金を出し合い、病

気やけがの際には、医療費を少しでも軽くしようという制度です。会社や役所などの健康保険に加入している人以外は、すべて国保に加入しなければなりません。特に、会社をやめたりして、職場の健康保険を脱退した場合に、国保への加入資格は翌日からできたものとみなされ、保険税はその日から計算されま

ど、また、どんな給付が受けられるのか教えてください。

●1世帯当たりの医療費と保険税



※58年度は老人保健の国保分を含む

す。届け出が遅れると、その日までさかのぼって計算され、一時に多額の保険税を支払わなければなりませんので注意してください。(加入や脱退の届けは十四日以内にしてください)

度は、冷害による保険税の落ち込みが予想されますので、皆さんの心掛けて医療費の節約を図り、健全財政の維持にご協力をお願いします。

国保加入者が、病気やけがのため医療機関で治療を受けた場合、医療費の七割を国保が給付します。(自己負担は三割)また、同じ病院で同じ月内に五万一千円を超えた場合は、その超えた分が国保から支給されます。このほか、次のような場合には全額を支払った後でその七割分の払い戻しを受けることができます。●急病や交通事故などで被保険者証を持たないで診療を受けたとき●骨折やねん座で柔道整復師の施術を受けたとき

私は、今年の一月に富良野市から転入してきました。家族は、主人と小学二年の娘、それに三月に生まれたばかりの息子がいます。

富良野は一年ほど居たのですが、へそまつりなど祭りの多い街で、冬は雪が多くて寒い所でした。幕別も寒いですが、雪が少ないからいいですね。

私は東京の出身で、二十歳の時に結婚してから、主人の転勤で神奈川県や山形県にも住みましたが、特に山形の鶴岡市に住んだ時には、方言に困ったこともありました。

ここ幕別は主人の実家があり、おばあちゃんの家には子供を連れて、よく遊びに行きます。家の近くには、学校や公園、お店もあり満足しています。これからは、近所づきあいをたいせつにしながら早く町に慣れたいと思います。



さらしや 晒谷ひろみさん(29歳) 緑町5

新町民登場

赤ちゃんを抱いた 安産地藏尊

第50回
幕別モッタイ

路傍の神——
開拓と信仰⑮
錦 町

町民会館前の駐車場の隅の小さな御堂に、赤ちゃんを抱いた美しい色彩のお地藏さんが納められている。安産地藏と呼ばれ、近所の人や安産を祈る人、安産を祝う人の温かいお世話で、供花や供物の絶えないお地藏さんです。

「御子(現在の天皇第一皇女照宮)の安産を祈って、お地藏さんを作ろう」と、黒岩関次郎さんの発案で、当時、花屋を営んでいて、たいへん器用であった託間光次郎さんが、土偶を作り顔料を塗って地藏さんができ上がった。そして大正十四年に「なるべく人の集まる所がよからう」と、現在の寿々半の先代、稲毛早太さんが営んでいた、うどん・そばの店「松月」の中



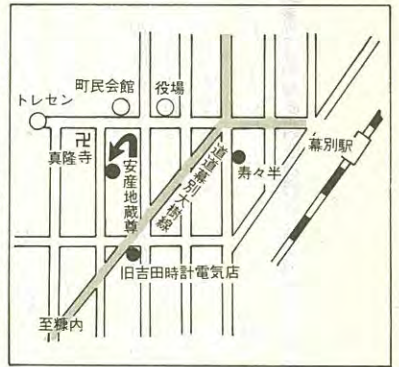
赤ちゃんを抱いた美しい色彩の地藏尊

に安置された。

その後「やっぱり、お祭をせいやー」と、だれからともなく話があり、お地藏さんを旧吉田時計電氣店前の、よつづじの道路のまん中に移し、お祭りが始められた。その時に寄付を集め、御堂を新田工場建築士の小幡氏に依頼し、七十円で作った。

昭和七年八月二十三日に、奉納されたのぼりを立て、初めて盛大なお祭を行い、盆踊りも始められた。以後、八月二十三日は祭りの日と定められており、昭和十年ころには、仮装盆踊りも行われた。現在でも祭りの日として守られていて、盆踊りも行われている。また、ここで行われる盆踊りが、幕別最後の夏祭りでもあることから、大いににぎわいを見せている。祭りの日には、仏教協会から各派の僧が、毎年交代で読経し、これに大和講の御詠歌の人々も加わった。一時は、高山房吉さん、細田角次郎さん、額瀬荒吉さんが世話人となり、青年部に運営を任せられたこともあったが、現在は、町内の世話人、公区、青年団が中心となり運営されている。

昭和十五年、道路のまん中にある



ったお地藏さんは、交通の障害になるということで、旧吉田時計電

浄化センターで通水式

下水道終末処理場



テープカットを行う林町長ら関係者

町民の念願だった公共下水道の終末処理施設「幕別町浄化センター」が明野に完成。五月八日に通水式が行われ、林町長がスイッチを押して、処理区域と同センターの間が結ばれました。式には、工事関係者、町理事者、

氣店前の歩道に移された。以後三十余年、吉田家の前に安住していたが、道路整備のため、再度移動されることになった。吉田栄逸さんは、母子センター、お寺、花壇のある所などと、いろいろ検討した結果、現在地を選び、役場から三坪を借りて、昭和五十年に移転した。表通りから外れているが、以前よりお参りの人々は、増えてい

るといふ。いつごろ安置されたか分らないが、この地藏さんの左側に、阿部忠と台石に刻まれた、小さな合掌地藏尊があり、右側には、盲人の白いつえが斜めに立てかけてある。

●取材協力 石田勝市さん
林 五月さん
吉田栄逸さん

来賓約百十人が出席し、神主の祭事、テープカットなどのあと、センター内の施設を見学しました。通水開始により、鉄北地区の九百三十戸で下水終末処理が可能となり、一日九百トンの処理能力があります。業務は職員を一人配置し、維持管理については、年間二千四百万円が業者に委託します。

町老人クラブへ三万円 ▼幕別興業(株)(明野)から宝町老人クラブへゲートボールコート用の土、トラック五百分 ▼横山政幸さん(途別)から途別老人クラブへ五万円

増地さんが町へ庭木などを寄贈



林町長に目録を手渡す増地さん(右)

- 「ご寄付ありがとうございます」
- 町社会福祉協議会へ……
- ▼新田由男さん(駒島)から三万円 ▼関谷秋信さん(札内泉町)から二万円
- 老人クラブへ……
- ▼札内寿会へ川瀬卓雄さん(札内豊町)から二万円、佐久間庄吉さん(札内春日町)から一万円、渡辺キクさん(札内新北町)から一万円、角田政平さん(札内中央町)から二万円 ▼老人クラブ連合会へ小川鍼灸院(札内中央町)から二万円、高橋章さん(札内若草町)から一万円 ▼西尾チエ子さん(旭町)から旭

増地光二さん(札内泉町)から、農業者トレーニングセンターの前庭造園用として、町へ庭木および庭石(五百三十万円相当)の寄贈がありました。